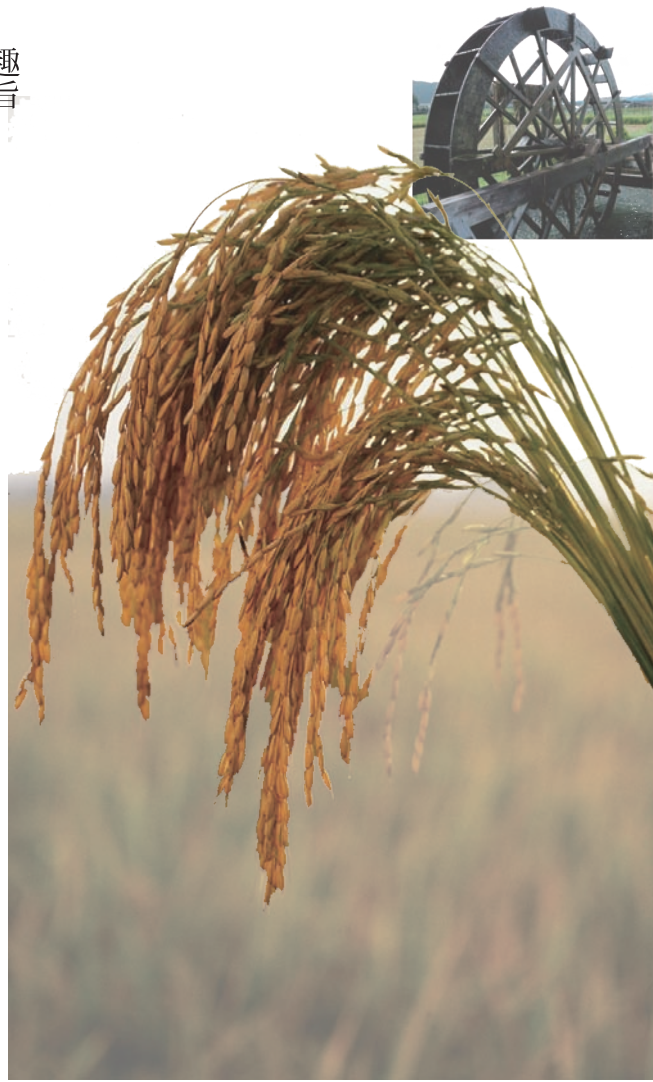


# 「食といのち」

講演会と宗教対談

# その靈性」



## 趣旨

飽食の時代、また目まぐるしい経済発展の時代にあつて、いのちをいただく食体験や自然との共生理解が希薄な現代。

本企画では、伊藤幸史師より、アジア学院（アジア農村指導者養成専門学校、栃木県）や共働学舎（長野県）での体験をもとに食と農と信仰との関わりについてご講演いただき、

また倫理学及び日本思想史の専門的知見から風土論と農への思索を極めてこられた亀山純生師との対談のうちに、「食といのち」の靈的次元が解き明かされます。いのちを育む食の力と可能性について、

皆様と考えを深め合うことができましたら幸いです。

日時：**12月16日(土) 14:00-17:30**

会場：上智大学 7号館 4階 文学部共用室 A

※開場 13:30・入場無料・事前申込不要

【講演】 14:00-15:30 『ふーど（食・風土）といのち』

伊藤幸史（カトリック東京教区所属 新潟市新津教会主任司祭）

【対談・シンポジウム】 15:45-16:45 『食といのち』

伊藤幸史、亀山純生（東京農工大学名誉教授、浄土真宗本願寺派聖専寺住職）

【司会】海老原 晴香（白百合女子大学）

17:00- 全体での意見交換

※ クリスマスを前にしてですが、この機会に、どなたでも 御来聴大いに歓迎！ 聴講無料。

主催：上智大学重点研究『グローバル化の動向に直面しての〈宗教的靈性〉の刷新的適応と〈いのちの倫理〉の統合的構築—地球環境を憂慮する「いのちの倫理」の宗教的基礎へ向けて—』（代表：長町裕司）

※連絡先：海老原晴香（白百合女子大学）hebihara@shirayuri.ac.jp